



P R E S S R E L E A S E

* 本リリースは 2014 年 5 月 27 日 (現地時間) に、日本、米国、英国、韓国で同時に発表されたプレスリリースを翻訳したものです。

2014 年 5 月 28 日

**CSR SiRFstarV™アーキテクチャが、
Galileo 測位衛星を利用したリアルタイムの位置測定を実現**

～業界をリードする GNSS エンジンの Galileo サポートにより eCall 義務化にも即応～

CSR plc(本社:英国 ケンブリッジ ロンドン証券取引所 略号: CSR、NASDAQ 略号: CSRE、以下「CSR」)は本日、同社の先進の SiRFstarV™アーキテクチャが Galileo 測位衛星を利用した位置測定に成功したと発表しました。2014 年 3 月 16 日、ドイツにおいて、業界での評価が定着した CSR の [SiRFstarV 5ea](#) Quad-GNSS レシーバーが、現在軌道上にある Galileo 測位衛星 4 機からの信号を受信、追跡、算出した位置測定に成功したものです。

このほど、欧州委員会は乗用車及びライトバンへの [eCall](#) 緊急応答システムの搭載を義務化することを決定しました。eCall は、車が事故に遭遇した場合に、その自動車から自動的に緊急通報を送信するシステムですが、これには Galileo のサポートが必要です。欧州委員会は、2015 年後半までに eCall サービスを完全整備し、EU 域内での安全確保を図る目標を掲げていますが、CSR の SiRFstarV は、現在、eCall と Galileo の規格をサポートする数少ない GNSS レシーバーのひとつです。

経度、緯度、高度の三次元を位置測定するには、少なくとも 4 つの人工衛星が必要です。現時点では、Galileo 測位衛星群を形成する 4 つの人工衛星を地上から同時に視認できるのは、毎日 2、3 時間に限られるため、位置測定できるのも現状この時間帯に限られます。しかし、位置測定可能となる頻度は、欧州宇宙機関(ESA) がさらに多くの衛星を配備し、地上局が増強、運用開始されるにつれて向上していきます。2018 年には、Galileo システムによる包括的な位置測定、ナビゲーション、同期サービスが利用できるようになると期待されており、自動車関連メーカー各社は、この行程に合わせ、SiRFstarV をはじめとした Galileo に適合したソリューションを組み込む設計を開始しています。

CSR のビジネスグループ担当シニアバイスプレジデント、アンソニー・マレー (Anthony Murray) は次のように述べています。「CSR と SiRFstarV アーキテクチャが、GPS、Glonass、BDS/Compass、Galileo など、すべての主要衛星測位システムに対応する能力を検証できたことは、とても大きな成果です。当社は、Galileo 衛星ナビゲーション・システム配備の将来性を見据えて SiRFstarV を開発しました。当社の先進的な GNSS アーキテクチャは、現時点での eCall 義務化に対応するだけでなく、今後数年にわたって増強配備されていく Galileo システムの諸機能を、ソフトウェアをアップグレードするだけですべて活用できるようにするなど、多機能なコア・プラットフォームを提供します」

SiRFstarV アーキテクチャは、GPS、Galileo、Glonass、BDS/Compass の人工衛星を利用してリアルタイムの位置情報を提供します*。CSR は、自動車用途向けに SiRFDRive®テクノロジーを提供しています。これは、MEMS および自動車センサーからの情報と GNSS による測定結果を総合分析判断することで、都市部のビル間の深い谷間、トンネル、駐車場ビルを含むあらゆる環境下でも間断なく安定し、かつ正確な位置測定を行うテクノロジーです。

【*補注】 このほか SiRFstarV は日本の宇宙航空研究開発機構 (JAXA) が構築を進めている準天頂衛星システム QZSS にも対応しています。

###

* 本リリースは 2014 年 5 月 27 日 (現地時間) に、日本、米国、英国、韓国で同時に発表されたプレスリリースを翻訳したものです。

原文は、<http://www.csr.com/news/pr/2014/galileo> をご参照ください。

関連リソース (英語)

*CSR の各種位置情報ソリューションの詳細 :

<http://www.csr.com/products/technology-solutions/location>

*CSR SiRFstarV™ 5e について: <http://www.csr.com/products/sirfstarv-5e>

*CSR の SiRFstarV についてのその他詳細 (基本情報、ブロック図など) :

http://www.csr.com/system/files_force/csr-product/supporting-docs/rebrand_sirfstarv_5e_product_brief_0.pdf?download=1

*eCall システム (欧州委員会) : <http://ec.europa.eu/digital-agenda/en/ecall-time-saved-lives-saved>

CSR について :

CSR は、位置情報検知 (ナビゲーション)、メディアリッチ、クラウド・コネクティビティの分野に革新的なシリコンおよびソフトウェア・ソリューションを提供するグローバル企業です。当社のプラットフォームは車載ナビおよびインフォテインメント、デジタルカメラ、画像処理、家庭用インフォテインメント、ワイヤレス・オーディオ市場向けに最適化されています。CSR は、オーディオビジュアル、コネクティビティおよびロケーション・テクノロジーなどの様々な市場で多様化する課題に対応するソリューションを提供し、それらは自動車、コンピュータ、家庭用および携帯機器市場をリードする主要企業に採用されています。CSR のテクノロジー・ポートフォリオは以下の通りです。

GPS/GNSSシステム、Bluetooth、Wi-Fi、FM、NFC、aptXおよびcVcオーディオ・コーデック、JPEG、MPEG、H.264画像処理、IPS印刷、マイクロコントローラ、DSPおよびブロードバンド・レシーバー。 これらテクノロジー・ソリューションおよびマーケット・プラットフォームを活用頂くことで、採用メーカーはエンドユーザーに優れたユーザー体験をご提供いただけます。さらに詳しい情報および最新情報は

当社Website <http://www.csr.com/japan/> [technical blog](#) [CSR people blog](#)
及びSNSサイト [YouTube](#), [Facebook](#), twitter.com/CSR_plc. をご覧ください

将来予想に関する記述

本プレスリリースには、CSR のSiRFstarIV™プラットフォームSiRFDrive® technology、GPSシステムソリューション 及びそれらが自動車関連製品または家電製品に搭載された場合に発揮される性能、ならびにその他の将来発生しうる事象またはそれらがCSRに及ぼす潜在的影響について、過去の事実以外の情報であって、かつ米国の1995年民事証券訴訟改革法 (United States Private Securities Litigation Reform Act of 1995) において「将来予想に関する記述(forward looking statements)」との解釈が成り立ちうる声明 (将来の事業または業績に関する経営陣の計画及び目標に関する所信表明、またはそれらに関する仮定を含む) を含んでいます。これらの予想に関する記述は、「予定である」、「提供できる」、「提供する」、「可能にする」、「強化する」、「実現する」、「設計されている」、あるいはそれらに類似した表現で特定できます。CSR のSiRFstarIV™プラットフォームSiRFDrive® テクノロジー、GPSシステムソリューション及びそれらが自動車関連製品または家電製品の今後のリリース、関連製品、またはこのような製品の性能、機能、または特徴の変更は、CSRおよびその顧客の継続的な評価の対象であり、実現されるかどうかは不確実であり、CSRまたはその顧客の確約と見なすことはできず、購入の判断に利用するべきではありません。このような予想に関する記述は、CSRの経営陣の現時点での予想と見解を表しており、CSRの事業戦略とCSRが事業を行う環境に関与する多数の仮定の上に成り立っているため、未知または既知のリスク、偶発性、不確実性、およびその他要因が複雑に関連しており、その多くはCSRが管理しうる範囲外に属します。これらの要因の一部は、SECのWebサイト (<http://www.sec.gov>) で公開されているCSRの定期レポート (「Risk Factors (リスク要因)」または「Forward Looking Statements (将来予想に関する記述)」という見出しの下、またはその他の箇所) で詳述されていますが、それらに限定されません。予想に関する各記述は、その日付の時点での記述です。法に定めのある場合を除き、CSRは、ここに記載されている予想に関する記述について更新または改訂があった場合でも、公式にリリースする責任を負いません。

*Bluetooth®およびBluetoothロゴは、Bluetooth SIGが所有する商標であり、CSRにライセンスされています。

Wi-Fi®, Wi-Fi Alliance®, WMM®, Wi-Fi Protected Access®, WPA®, WPA2®, Wi-Fi Protected Setup™ 及び Wi-Fi Multimedia™ はWi-Fi Allianceの登録商標です。

*本文書に記載されているその他の製品、サービス、名称は、該当するそれぞれの所有者の商標である場合があります。

<報道関係お問い合わせ先>

広報代行 株式会社プラップジャパン 谷本、鈴木
電話 : 03-4570-3191 E-mail: csr_pr@ml.prap.co.jp

<SiRFstar等CSR製品に関するお客様、ユーザー様お問い合わせ先>

シーエスアール株式会社

深田 学

電話 : 03-6403-7100 Email: prjp@csr.com